



2024年7月19日

各位

会社名 株式会社セレス
代表者名 代表取締役社長 都木 聡
(コード番号：3696 東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役 兼 管理本部長 小林 保裕
電話番号 03-6455-3756

サステナビリティ・リンク・ローンによる資金調達の実施に関するお知らせ

当社は、日本生命保険相互会社（本社：大阪府大阪市中央区、代表取締役社長 社長執行役員 清水博）とのサステナビリティ・リンク・ローン（以下 SLL）による資金調達の実施を 2024 年 7 月 19 日開催の取締役会で決議しましたのでお知らせいたします。

SLL とは、借り手の経営戦略に基づいて設定したサステナビリティ目標（サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット、以下「SPTs」）の達成状況に応じて借入条件を連動させる仕組みです。これにより、借り手が SPTs を達成する動機を高め、環境や社会の観点から持続可能な事業活動や経済成長の促進を目指すものです。

今般の SLL では、当社が CDP 気候変動スコア*において「リーダーシップレベル（A、A-）」を獲得することを SPTs に設定いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン（SLL）の概要

実行日	2024年7月31日
借入形態	サステナビリティ・リンク・ローン
貸付人	日本生命保険相互会社
借入額	300百万円
SPTs	CDP 気候変動スコアにおいて、リーダーシップレベル（A、A-）に選定されること

日本生命保険相互会社が策定した SLL フレームワークに基づき、SLL 原則に対する適合性の評価を受けております。なお、当フレームワークは、株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しております。

(注) CDP 気候変動スコア*：CDP は英国の慈善団体が管理する非政府組織。情報開示の包括性、環境リスクに対する認識と管理、野心的で有意義な目標設定など環境リーダーシップを、A から D-のスコアで評価。持続可能でレジリエントなネットゼロ経済に向けた投資や購買の意思決定に広く活用され、企業の環境に対する取り組みの透明性と責任を評価する重要なツールとされる。

セレスのサステナビリティに関する考え方と取り組み

当社グループは、創業当初から「インターネットマーケティングを通じて豊かな世界を実現する」を経営理念に掲げており、2021年12月公開の中期経営計画では、ポイント経済圏とブロックチェーンからなる「トークンエコノミー（代用通貨経済圏）」の創造をもとに、社会経済活動の活性化を図るプラットフォームの構築を目指しております。

これらビジョンの中長期的な実現には、地球環境問題や多様なバックグラウンドを持つ従業員のパフォーマンスを最大化する職場環境の整備など、様々な社会課題への貢献や持続可能な社会の実現が重要であると考えます。そこで当社グループは、各方面のステークホルダーと連携し、これまで取り組んできたサステナビリティ戦略を一層強化し、より横断的かつ機動的にサステナビリティの取組みを積極的に推進しております。

1. マテリアリティの設定

当社は長期的な成長と持続可能性を確保するため、重要な社会課題、環境課題を特定し、それらに対する戦略的な対応を行うため、特に注力して取り組むテーマとして7つのマテリアリティを設定しております。

マテリアリティ		関連するSDGs					
1	自社サービスを通じた豊かな社会の実現への貢献						
2	オープンイノベーションによる社会課題解決・経済発展への貢献						
3	デジタル広告の公正な運用と業界の健全な発展への貢献						
4	環境に配慮した製品・サービスの提供						
5	多様な人材の活躍						
6	情報セキュリティとプライバシー						
7	コーポレートガバナンスの強化						

2. 「モッピー×SDGs」

ポイントサイト「モッピー」では、貯めたポイントを社会課題の解決に貢献する団体に寄付することができるプラットフォーム「モッピー×SDGs」を運営しています。このプラットフォームを通じて、526万人※以上のモッピーユーザーが持続可能な社会の実現に貢献することができます。

「モッピー×SDGs」では、SDGs（持続可能な開発目標）の17のすべての目標に関連する団体に寄付することが可能です。例えば、貧困の撲滅、教育の質向上、ジェンダー平等、気候変動対策など、多岐にわたる分野に対応した団体が参加しており、ユーザーは自身の関心や価値観に合った団体を選び、寄付を通

じて直接的に社会貢献を行うことができます。

この取り組みにより、当社はモッピーを通してユーザーに対してただポイントを貯めるだけでなく、そのポイントを有意義な形で社会に還元する機会を提供しています。これにより、ユーザーの社会的関心を高め、行動を促進し、結果的に持続可能な社会の実現に寄与しています。

また、当社グループとしても、このような取り組みを通じて、社会的責任を果たし、持続可能なビジネスモデルを構築することが可能です。ユーザーと共にSDGsの達成を目指してまいります。



※2024年3月末現在

<https://pc.moppy.jp/donation/>

3. 人的資本に関する考え方と取り組み

当社グループは、変化の激しいインターネット業界で事業を展開するにあたり、次世代の社会インフラの基盤技術となる可能性を持つブロックチェーン技術を重要戦略に位置付け、常に変化に強く、競争力の高い組織の構築を目指しています。そのため、当社グループでは、ジェンダーや性別、国籍、人種、言語、思想など、多様なバックグラウンドを持つ人材が共存する状態を「多様性」と定義し、多様性確保に向けた人材育成と従業員一人ひとりのパフォーマンスの最大化に向けた社内環境整備を推進しております。

(1) セレスの人材の多様性の考え方

セレスは、変化の激しいインターネット分野で事業を展開しており、将来の社会インフラとなる可能性のあるブロックチェーン技術にも積極的に投資しています。このような環境の中で、変化に強く、競争力の高い組織を構築していくためには、メンバーの多様性が重要であると考えています。セレスが考える多様性とは、ジェンダーや性別、国籍、人種、言語、思想など、多様なバックグラウンドが共存している状態を指します。

(2) 多様性確保に向けた人材育成方針

セレスでは、多様なバックグラウンドを持つ人材の共存を大切にしていますが、個々の能力を最大限に発揮させ、それを組織の成果として結びつけるためには、組織マネジメントの重要性とともにその難易度も高まると考えております。そのため、リーダーやリーダー候補者に向けた組織マネジメントの教育・研修を充実させ、効果的なマネジメントスキルを養成しています。

(3) 多様性確保に向けた社内環境整備方針

多様なバックグラウンドを持つ人材が個々の能力を発揮するためには、それぞれのアイデアをアウトプットする「仕掛け」が必要です。セレスでは、そのような「仕掛け」が実現できるようなオフィス環境や制度の設計を行っています。これにより、従業員が自由に意見を交換し、新たなアイデアを生み出せる環境を提供し、組織全体のイノベーションを促進しています。

当社グループは、上記取り組みを通じて、引き続き、多様な社会課題に対して積極的に対応し、持続可能な未来の実現に貢献してまいります。

セレスのサステナビリティレポート：

https://media.ceres-inc.jp/news/2024/05/sustainability_ceres.pdf

以上